# 都　市　経　済　委　員　会　会　議　録

**招　　集**

令和８年１０月１日（木）本会議休憩中　議会委員会室

**出席委員（９名）**

（委員長）津　田　幸　一　　　（副委員長）田　村　謙　介

新　井　章　太　　今　城　雅　子　　門　脇　　由　　中　田　利　幸

西　野　太　一　　又　野　史　朗　　渡　邉　洋　介

**欠席委員（０名）**

**説明のため出席した者**

伊澤副市長

【都市整備部】山中部長

［道路整備課］北村次長兼課長　足立課長補佐兼交通安全施設担当課長補佐

**出席した事務局職員**

毛利局長　田村次長　森井議事調査担当局長補佐

**傍 聴 者**

伊藤議員　大下議員　加藤議員　徳田議員　錦織議員　前島議員　松田議員

三木議員　矢倉議員　矢田貝議員　吉岡議員　鷲尾議員

報道関係者０人　一般１人

**審査事件及び結果**

議案第１０４号　工事請負契約の締結についての議決の一部変更について　［原案可決］

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

**午前１０時５９分　開会**

**○津田委員長**　ただいまから都市経済委員会を開会いたします。

本日は、先ほどの本会議で当委員会に付託されました議案１件について審査をいたします。

都市整備部所管について審査をいたします。

議案第１０４号、工事請負契約の締結についての議決の一部変更についてを議題といたします。

当局の説明を求めます。

足立道路整備課長補佐。

**○足立道路整備課長補佐兼交通安全施設担当課長補佐**　議案第１０４号の工事請負契約の締結についての議決の一部変更について御説明いたします。

対象となります工事につきましては、令和７年１０月１日に金田工務店・松澤組特定建設工事共同企業体と契約を締結した市道車尾日野橋熊党線日野橋橋りょう補修工事（その１）でございます。資料を通知いたします。

本工事の施工区間につきましては、日野橋全体６径間のうちの車尾側の２径間を対象としています。

工事の概要につきましては、上部トラス部においてＰＣＢを含有する既存塗膜を除去した上で、塗装の塗替え及び修繕を行ったものです。今回、施工写真にありますとおり、上部トラス部の既存塗膜を除去した結果、当初の想定を上回る塗膜処分量が確認され、これに伴い処分費等が増加したことから、契約金額を変更する必要が生じたものです。

このため、契約金額を１，７０１万３，７００円増額し、変更後の契約金額を４億６，４３７万９，３００円とする工事請負契約の一部を変更する契約を行いましたので、御報告し、御承認をお願いするものでございます。説明は以上です。

**○津田委員長**　当局の説明が終わりました。これより質疑に入ります。委員の皆さんの質疑をお願いいたします。

門脇委員。

**○門脇委員**　先ほども少しお話させていただいたんですけれども、この塗膜処分量の増大がどの程度あったのか。この１，７００万円という数字の中身が今分からない。そういった資料が本当はあったほうがいいのではないかと思います。数字だけ出てくると、この数字を我々は議決をするわけですけれども、数字だけではその中身がはっきりとしないところがありますので、その中身の詳細等がやはりそういった資料を出していただいたほうがいいのではないかと感じておるんですが、本日はもう間に合わないと思いますので、これは要望として、今後こういったところにおいては、この増額の中身、根拠となるようなものがこちらとして判断できるような資料というのが欲しいかなと思うんですけれども、いかがでしょうか。

**○津田委員長**　北村都市整備部次長。

**○北村都市整備部次長兼道路整備課長**　委員の言われますように、確かにこれだけではどの工事がどれだけ増えて、どのものが減ったりとかというのが分かりませんので、今後の資料作成について検討していきたいと思います。以上です。

**○津田委員長**　そのほかございませんでしょうか。

田村委員。

**○田村委員**　これ確認なんですが、吉岡側のその２についても同様の状態が想定されるとお考えでしょうか。

**○津田委員長**　足立道路整備課長補佐。

**○足立道路整備課長補佐兼交通安全施設担当課長補佐**　今言われました吉岡側の２径間につきましては、既に工事は完了しておりますが、そちらにおきましても、車尾側よりは健全な部分があったというところで、増額要素というのは今回ほどではなかったんですけれども、このように当初想定していなかった……。

吉岡側につきましては、７月に専決処分いただいた案件になります。

**○津田委員長**　ちょっと待ってください。質問に対する……。

山中都市整備部長。

**○山中都市整備部長**　先ほど御質問のありましたその２につきましては、７月の議会におきまして、この委員会で承認をいただきまして、変更内容としてはそのときと同じでございます。以上です。

**○津田委員長**　田村委員。

**○田村委員**　聞きたかったのは、要は金田工務店さんより美保さんのほうが契約額は低か

ったんですよね。だから、その差異の中で、大きいほうが足りないと言っているのに、少ないほうがそれで収まっているのかというそういう疑問なんですけど、単純に。

**○津田委員長**　足立道路整備課長補佐。

**○足立道路整備課長補佐兼交通安全施設担当課長補佐**　今回のその１工区、車尾側につきましては、当初の調査の結果からも損傷度というのがかなりほかに比べて大きかったというところがございました。その中で工事費も大きく、その後現地に入って調査を重ねた結果、より損傷度が激しくて増嵩要素が増えたというようなことになっております。以上です。

（「分かりました。」と田村委員）

**○津田委員長**　そのほかございませんでしょうか。

今城委員。

**○今城委員**　先ほど来の門脇委員さん、それから田村副委員長のお話を総合してみると、今その数量的なもの、要するに今回のこの議案でいうところでいうと、施工前と施工後の剥ぎ取りの状況であるところと、それから数量的なもの、それに対する金額はこれですってことが分かっているんですけど、そこのところが今出ませんか。そこが出ないから結局、先ほど田村委員さんがおっしゃったように、こっちが小さい施工でこっちが大きい施工になっている、金額的にねってことになってるのに、こっちがどうなんだっていう増減の話とかが不明瞭ではないかという言い方をされているわけなので、明瞭にきちっとそこが根拠があるというんだったら、今休憩取っていただいてでも、その資料が出るんだったら今出してもらいたいんですけども、それはできませんか。

（「関連して。」と中田委員）

**○津田委員長**　中田委員。

**○中田委員**　結局、処分量というので出ているので、量的な変化がどうであったかっていう根拠が必ずあると思うんですけど、そこら辺が出ないのかなって思うんですよ。劣化が激しいとか、思ったよりも、例えばケレンというか、剥ぎ取りの量が現場でやってみると多いってことはあることだと思うので、それ自体が変化したのはいいんですけど、結果的に契約の金額の変更になっていくので、どういう量に対してどういう金額の変更だったかという根拠が出れば、それを示したほうがいいと思うんですけど。

**○津田委員長**　北村都市整備部次長。

**○北村都市整備部次長兼道路整備課長**　その数量的なものの根拠を示すものが今ありませんので、改めてお示ししたいとは思うんですけども。その休憩をいただいてとかという範囲でよろしければ、今事務所のほうで確認はできると思います。以上です。

**○津田委員長**　では、暫時休憩いたします。

**午前１１時０７分　休憩**

**午前１１時１３分　再開**

**○津田委員長**　都市経済委員会を再開いたします。

議案第１０４号、工事請負契約の締結についての議決の一部変更についての詳細について、当局のほうより説明をお願いいたします。

**○津田委員長**　足立道路整備課長補佐。

**○足立道路整備課長補佐兼交通安全施設担当課長補佐**　先ほどの御指摘について、手元資

料でございますが、御説明させていただきたいと思います。

まず、処分量が主な増嵩要素となったところですけども、その詳細につきましてですが、先ほど御説明しました塗膜、ＰＣＢを含有する塗膜ですけども、当初が約６トンの設計でありましたけども、実施したところ約１２トンまで上がっております。それに伴いまして、作業員の防護服、フィルター及び現場に養生していたシート等々、そういった塗膜が付着したシートなども処分をしないといけません。そちらの分につきまして、当初約２．６トンを見込んでいたものが１４．５トンに増えまして、約１２トンほど増えております。

今のＰＣＢが付着したもの全てでいきますと、約１７．９トンほど増額になっておりまして、それが主な処分費に反映されているところです。以上です。

**○津田委員長**　当局の説明が終わりました。委員の方の質疑、御意見等をお願いいたします。

田村委員。

**○田村委員**　御説明ありがとうございました。よく分かりました。

それで、ちょっと気になったのが鋼材の補強、補修というのがあったと思うんですが、これはこの増加した分に入ってないのでしょうか。

**○津田委員長**　足立道路整備課長補佐。

**○足立道路整備課長補佐兼交通安全施設担当課長補佐**　鋼材のほうも鉄板を当て板で補強する方法であるとか、シートを補強する方法であるとかという方法を選んでおりますけども、現地のほうでそのプラスマイナスが出ております。例えば、当て板、鉄板を張るほうの仕事はちょっと減っておりますけども、ＦＲＰのシートを貼り付けて補強するという数量についてはちょっと増えておりますというような状況です。以上です。

**○津田委員長**　田村委員。

**○田村委員**　分かりました。それで、先ほどの説明で車尾側のほうが劣化が多いので、そっちのほうが契約額が多かったというようなお話だったと思うんですが、ＰＣＢを含む塗膜を除去した、ブラストとして出た塗膜片というのは吉岡側も車尾側も結局一緒なんじゃなかったんですかというふうに思っちゃうんですけれど、その辺りどうでしょうか。

**○津田委員長**　足立道路整備課長補佐。

**○足立道路整備課長補佐兼交通安全施設担当課長補佐**　車尾側の劣化が激しかったというのは、目に見えて茶色いさびとかが浮いています。やっぱり今回１種ケレンというブラスト、高圧で噴射しています。それにおいて、結構鉄粉みたいなものまでもが剥がれています。その辺がやっぱり多いのかなという見立てがあります。以上です。

（「結構です。ありがとうございました。」と田村委員）

**○津田委員長**　門脇委員。

**○門脇委員**　詳細出していただいてありがとうございました。詳細聞くと、想定に対して実際の処分量というのが非常に大きいと感じられます。この差がとても大きいと思うんですけれども、一般的にこのような差が出るというのは、どうお考えでしょうか。私は非常に大きいように感じてますけど、要は当初の想定がちょっと甘かったのではないかというふうに感じられますけども、これっていうのは一般的な変化の範囲内なんでしょうか。

**○津田委員長**　足立道路整備課長補佐。

**○足立道路整備課長補佐兼交通安全施設担当課長補佐**　日野橋も約１００年経ちます。そ

の間に何回か塗装の塗替え作業というのは、昭和の時代、平成の時代やっております。その当時というのは、さびた部分だけを削って塗る、塗り重ねるというようなことを繰り返しています。このたび現地に入ってみますと、やはり塗装というのがかなり分厚い、厚みがあるところというのが確認されました。そうしますと、当初の塗装の厚みはこのぐらいだっただろうというところの標準的なものをちょっと超える部分がかなり見受けられましたので、そういった塗装の塗り重ね、厚さというのが剥ぎ取りの数量にも反映されているのかと思っております。以上です。

**○津田委員長**　門脇委員。

**○門脇委員**　ということは想定外と、今回はいうことで、塗り重ねがあって厚みが非常に増大していたと。結果として想定を超える大きな処分量になったということで、２０年サイクルでこういった補修をされると思いますけど、次回補修に至るかどうか分かりませんけれども、次回に至ってはこういう大きな想定外というのは出にくいというふうに考えていいんでしょうか。

**○津田委員長**　足立道路整備課長補佐。

**○足立道路整備課長補佐兼交通安全施設担当課長補佐**　今回の資料に写真をつけてさせていただいておりますけども、今回高圧で噴射しまして、鉄の鋼材の素地まできれいに出しております。その上に今回塗装を塗りましたので、塗装厚というのはほぼ均一に今回塗れてますので、次回処分するときは想定どおりほどの処分量になるのかなと思います。以上です。

**○津田委員長**　よろしいですか。そのほかございませんでしょうか。

〔「なし」と声あり〕

**○津田委員長**　ないようですので、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。採決に向けて委員の皆様の御意見をお願いいたします。

〔「なし」と声あり〕

**○津田委員長**　ないようですので、討論を終結いたします。

それでは採決いたします。

議案第１０４号、工事請負契約の締結についての議決の一部変更について、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と声あり〕

**○津田委員長**　御異議なしと認めます。よって本件は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で都市経済委員会を閉会いたします。

**午前１１時１９分　閉会**

米子市議会委員会条例第２９条第１項の規定により署名する。

都市経済委員長　　津　田　幸　一